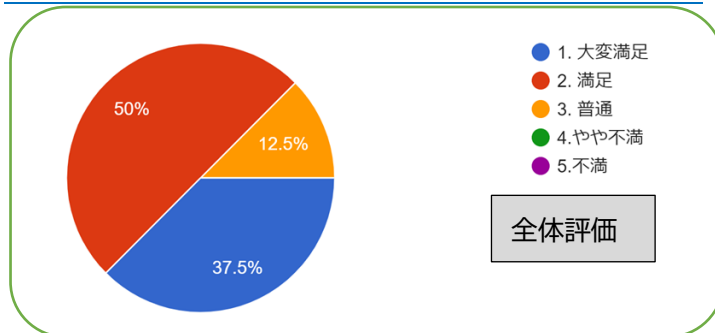


2021 年パワーエレクトロニクス講習会_受講者評価・声



感想

- 動作の原理をもとに回路を組み上げて、実際の波形を見ながら学習を進めることができ理解が深まりやすかった。
- 電気回路に苦手意識があったので、回路を自分で組みながら学べるセミナーをここ数年探していましたが、この講習会は、パワエレ 回路を組める演習が豊富で大変有意義でした。演習問題にまじめに取り組むほど理解が深まるよう工夫された講義だったので、最後まで意欲的に取り組みました。
- ソフト設計を主にやってきてたので、パワエレについてはなんとなく知っている程度でしたが、今回の講習会を通して理解を深めることができました。基礎的な内容から体系的にステップアップして学習できるため、取り組みやすいと感じました。
- 講習において出された課題に関して、指示された回路図通りにブレッドボード上に回路を起こして、示されたような波形を確認するだけで終わることも出来れば、やろうと思えば何故そのような波形が得られるのか、などという考察を深めようと思えば幾らでも深められるところが、「何故このようになるのか？」を考える上で、非常に奥深い講習だったと私は思います。日々の業務においても、そのような掘り下げは必要な習慣だと個人的には思っており、単なる座学には留まらない面白さを感じました。

お薦めポイント！

- 回路の勉強を通して、デバイスの使用方法を知れるところ。
- 制作課題が良かった。単にテキストだけで習うより実際に組み立てて測定することで、理解が定着しやすく楽しめる。
- パワエレを一から理解できる。
- 基礎的な部分から見直せる。
- 電気系ではないパワエレ技術者にも理解しやすいところがおすすめ！

こんな方に！

- 新入社員または入社数年までの社員教育として活用できるのでは！
- パワエレや制御に携わる若手エンジニア
- 電気電子工学の知識がある程度あり、電子回路に仕事で関わる人
- レベル感としては基礎的な内容であるため、入社2～5年目の若手社員あたり
- 高専以上で基礎的な電気の知識があるが、実務でパワエレに携わっていない（でも興味がある）人
- 電気系の4年生～院生か、非電気系の大学院卒業レベルが適正かと思います。講義のレベルは高いと思いますが、数学に強い方や、レポート作成に慣れた社会人ならついていける